

第2回 新潟港港湾脱炭素化推進協議会 議事概要

1 日時 令和6年3月22日（金） 14:15～15:07

2 場所 新潟県庁西回廊2階 講堂

3 参加者 別紙のとおり

4 議事要旨

(1) 協議会委員の追加について

- ・ 事務局から資料1について説明し、今協議会から参加となる2委員を紹介した。

(2) カーボンニュートラルレポート形成に向けた支援制度について

- ・ 事務局から資料2に基づきカーボンニュートラル形成に向けた県及び国の支援制度について説明・紹介した。

(3) 新潟港港湾脱炭素化推進計画（最終案）について

- ・ 事務局から資料3、資料4に基づき新潟港カーボンニュートラルレポート形成計画（最終案）の内容について説明した。
- ・ 掲載内容について委員から異議はなく、新潟港港湾脱炭素化推進計画及び概要版については最終案のとおり確定した。

(4) 今後の進め方について

- ・ 事務局から資料5に基づき、今後のスケジュール等について説明し、その進め方について質疑が行われた。

(5) 意見交換

- ・ 座長から、脱炭素化に向けてエネルギーの供給側・利用側それぞれの立場で所感や新たな動き等の情報共有を求め、委員から自社の取組について紹介があったほか、以下の発言がなされた。
 - ▼ 先ほど事務局から説明のあった県の新たな支援制度は、計画立案から具体的な取組の着手段階へ進むために有効。当社として活用可能かはまだわからないが、協議会が実行フェーズに移行したという実感を持てるという意味でいい取組ではないか。

- ▼ 水素燃料電池フォークリフトの導入等の取組を通じて水素の利活用における課題やメリットの整理に努めているところ。ただ、まだ規模が小さく実験段階であり、今後、実際に活用可能な技術の検討を進め、事業所のカーボンニュートラル化につなげていきたいと考えている。
- ▼ 国の支援制度については、県と情報共有をしながら活用が可能か検討を進めていきたい。
- ▼ 今後利用が想定されるものとして、車両等におけるバイオ燃料の使用や燃料電池化等が考えられるが、入れ替えには大きなコストがかかる。今日紹介があった支援事業等も考慮して検討を進めていきたい
- ▼ 港湾エリアに所有している土地を活用した再生可能エネルギーの発電等について検討しているところ。